

2024年 春期 特別支援教育支援員（学習支援員） 養成講座 応募要項

2月4日～3月24日、7日間とも土日祝日です ★追加募集 10人です！

「子ども支援室カシオペア」ホームページ、Facebook に講座の写真があります

NPO法人子ども支援室カシオペア
ディスレクシア協会名古屋

養成講座のねらい

コロナ禍3年を経て、不登校29万人、通級利用者過去最高、少子化の進行が毎日の話題となりました。女性の就労率も上がり、教育費も子育てのタイムパフォーマンスも気になる時代です。学校教育現場ではICT機器の利用が日常となり、不登校の低年齢化、高校進学と合理的配慮、教員の負担増、教員のなり手不足も課題です。

この講座は、特別支援教育支援員の養成をしていくとともに、保護者や学校関係者、支援者が学ぶ講座です。校長先生や教員の方たち、民間で子どもの指導をされている方たちもご参加くださっており、ワークショップやお昼休みの時間に実施されているグループセッションには、いろいろなお立場の方たちからの考えや意見が聞けて、視点が広がったと好評をいただいています。早期発見、早期対応を実現することで、後々の対応が楽になります。そのためにも発達障害に特化した当講座を学んで戴くことで、専門性ある人材が育って戴けることが非常に重要だと考えています。

特別支援教育支援員の配置の全国平均は1校2人ですが、いまだに生徒数が600人であっても、支援員が1校1人の地域もありますし、支援員の配置時間が子どもの学校生活の6割程度の市町もあります。低学年の時から早めに対応することが、子どもの自己肯定感を保ち、学習意欲を下げないことにつながりますが、現実には後手になり、子どもの学習意欲の低下が慢性化したり、不登校につながったりするケースが多いようです。

この講座は、名古屋市の制度に先駆けて、2010年春に第1期養成講座を実施、その後、春秋の年2回開催、2023年秋の第28期養成講座までに計930の方が修了、名古屋市をはじめ、愛知県内の小中学校で、多くの方が採用され、活躍されています。東海3県以外の地域から受講される方もおみえです。修了生は2010年から市内の小中学校で学習支援ボランティアを開始、現在も緑区の桶狭間小学校などに入って活躍しています。

支援員がクラスに入ると、先生はさまざまな対応、指導がしやすくなります。支援員は、一人ひとり違う状態像を示す個性豊かなLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥・多動性障害)、ASD(自閉スペクトラム症)などの子たちについて理解と対応スキルを学び、その学校の指導方針(個別指導計画)を理解し、先生方の指示を受けて支援する力量が必要になります。子どもが何に困っているのか、その原因は何か、どのような支援をすればよいのか、現場で役に立つ支援員を養成するために、さまざまな分野の専門の先生方にご協力いただき、共に学び合いたいと思います。

★講座内容／実施時期・場所

- ・ 講座内容：別紙のカリキュラムを参照して下さい。
- ・ 実施時期：2024年2月4日(日)～3月24日(日)の7日間、10時～15時30分、全14回の講座。
- ・ 実施場所：「ウィルあいち」(名古屋市東区上笠杉町1 地下鉄市役所駅から徒歩5分)

★受講生の条件

- ①発達障害について多角的に学び、子どもの支援に役立てたい人
(保護者、支援に携わりたい方、支援員、教員、保育士など。地域の制限はありません)
- ②講座受講中に知りえた個人情報の「秘密保持」について誓約できること
- ③受講料26,000円を前納すること、定員30人

*本講座は名古屋市の「発達障害対応支援員申込書」に、研修28時間として記入することができ、「受講修了証」は、教育委員会に対し、受講を証明する書類になります。

★公開講座(*印のついている講座)の一般席は5席～10席、ご用意をしています。

公開講座にお申し込みの方は、受講条件はなく、どなたでも受講できます。メールで先着順に受け付けます。1講座(2時間)2,500円です。講座日、講座名、名前、郵便番号、住所、電話、携帯番号、職業を明記し、メールで下記に送信して下さい。

★申込受付の手順

- ① **追加募集 10人です。1月25日までに**別紙「受講申込書」に必要事項を記述し、郵送、FAX、メール添付(word、PDF、テキスト)にてお申し込み下さい。申込先【子ども支援室カシオペア】kodomosien@gmail.com 電話 052-228-0842 FAX052-228-0846 〒456-0024 愛知県名古屋市熱田区森後町7-14 沼田ビル3階 NPO法人子ども支援室カシオペア <http://kodomosien.nagoya/>(講座写真掲載。この要項・申込書、ダウンロード可) 受講決定通知書を1月順次送付。受講決定後、受講料は銀行振込で全額納付。
- ② ディスレクシア協会名古屋のホームページはこちら。<http://dyslexia-nagoya.org> 読み書き検査も行います。

※カシオペアでは月、火、水に学習支援(フリースクール)を行っています。小中高対象。詳細はHPにて。

2024 年春期 特別支援教育支援員（学習支援員）養成講座の内容（予定）

*印は公開講座になります

回、月日	タイトル	時間	講 師	内 容
(1) 2/4(日)	オリエンテーション	10:00 ～ 12:00	子ども支援室 カシオペア	講座の進め方、受講生自己紹介、特別支援教育支援員の概略
	* 特別支援教育支援員の実際	13:30 ～ 15:30	ディスレクシア協会 吉田やすえ 岩田啓子、永峯美知留	特別支援教育支援員として、現場で長年活躍されているディスレクシア協会会員と、10 年以上、学習支援ボランティアコーディネーターをしてきた吉田やすえが、支援の実際とそのポイントについて話します。
(2) 2/11(日)	* 発達障害とは	10:00 ～ 12:00	心理療育研究所 トマニ教室 繁昌成明	40 年にわたる豊かな経験をふまえて、LD、ADHD、自閉スペクトラム症の診断基準その変化、愛着の課題など、発達障害のある人の理解と対応のポイントを学びます。
	* LD 疑似体験	13:30 ～ 15:30	ディスレクシア協会名古屋	見る、読む、聞く、話す、書くなどの困難さを体験するプログラムを使い、LD など発達障害のある子に、どのような対応をすることが望ましいかを考えます。
(3) 2/23(金祝)	* 行動療法の基礎と実際	10:00 ～ 12:00	中京大学教授 坂井 誠	応用行動分析を中心に、発達障害児への支援につながる行動療法の基礎を学びます。行動の理解、課題分析に基づく、具体的な支援法について話していただきます。
	教室の場面でのロールプレイ	13:30 ～ 15:30	子ども支援室カシオペア 中久木俊之 ディスレクシア協会 吉田やすえ	子ども、支援員、教師、クラスメイトの関わりを、具体的な場面を想定し、ロールプレイを通して体感します。ワークショップを通じて対応のポイントと問題解決の糸口を学びます。
(4) 2/25(日)	* 感覚統合と作業療法	10:00 ～ 12:00	名古屋リハ教社会館東部地域療育センターほけっと 作業療法士 水科順子	発達性運動協調障害など、発達に遅れのある子の行動や運動を理解し、改善していくために、感覚統合(感覚情報処理)の理論と作業療法について学びます。
	* 子どもの人権と発達障害 & 早期療育「サンライズプログラム」	13:30 ～ 15:30	弁護士 岩城正光 Team Lenny 代表 ドーマン朋子	前半は CAPNA（子どもの虐待防止ネットワークあいち）理事長、元名古屋市副市長の岩城正光弁護士に、人権から見た特別支援教育について、後半は、ASD の子育て「米国早期療育、サンライズプログラムとホームエデュケーション」について、ドーマン朋子さんから学びます。
(5) 3/9(土)	* 発達に伴う視覚認知の問題への対応	10:00 ～ 12:00	視覚学習支援センター代表 加藤元嗣	発達障がい児の視覚認知の発達、視覚発達検査、眼球運動、視覚と学習の関係、効果的なサポート方法など、元キクチ眼鏡専門学校教授で、視覚学習支援センターを開設された加藤元嗣先生にわかりやすく話していただきます。
	支援ツール体験ワークショップ	13:30 ～ 15:30	子ども支援室カシオペア 中久木俊之	行動を支援する支援ツール（視覚表示など）を、子どもに合わせてどのように作成したらよいか、課題分析を活かして具体的な場面での観察、分析、対応の方法を学びます。フリースクールにおける学習支援の実際についても話します。
(6) 3/17(日)	* 学校現場における ABA	10:00 ～ 12:00	心理学博士、国際認定行動分析士 竹島浩司	ABA（応用行動分析）の実際を動画を交えて紹介いただき、学校、家庭、療育で有効に使える支援方法、問題解決への分析方法を学び、学校で何ができるか考えます。
	* 発達障害の多様な状態像の理解と学校との関わり	13:30 ～ 15:30	プリズムベルクリニック院長 早川星朗	発達障害の多様な状態像に丁寧にアセスメントし、本人の困難さを尊重して支援される早川星朗医師に、二次障害を予防軽減し、成長支援の観点から、状態像の理解と本人支援につながる学校との関わりの現実的な解について学びます。
(7) 3/24(日)	* 教育を受ける権利の保障と ICT 活用 -読み書きの支援を中心に-	10:00 ～ 12:00	愛知教育大学准教授 相羽大輔	視覚障害教育の立場から、教育を受ける権利を保障するための合理的配慮の一つとして、教科書デジタルデータを含む音声教材、教科用特定図書導入・活用など、読み書きの支援を中心に ICT 活用を概観、様々なデジタル教材を紹介します。
	まとめ・修了式	13:30 ～ 15:30	子ども支援室カシオペア・ディスレクシア協会名古屋	修了生各自の報告、共有

子ども支援室カシオペア御中

2024年春期 特別支援教育支援員（学習支援員）養成講座受講申込書

下記のとおり、特別支援教育支援員養成講座の受講を申し込みます。

申込年月日 年 月 日

(ふりがな) 氏名	
住所	〒 -
電話	() 携帯：
e-mail	
生年月日・年齢	19 年 月 日 歳
健康状態	
学歴・職歴及び資格	
現況 (職業、社会活動、 「主婦」等)	
受講希望の理由 (400字以上800字程度) ※スペースが不足する場合は別紙添付可	
講座受講中に知りえた個人情報について守秘義務を守ることについての誓約	する しない

※・本申込書の記載内容につき直接確認させていただく場合があります

・本申込書に記載された個人情報は、特別支援教育支援員養成講座の業務連絡およびディスレクシア協会名古屋、子ども支援室カシオペアが実施する関連事業のご案内に使用いたします